

目次

ご挨拶	・・・・・・・・・・	高木伽耶子	
目次			i
会議日程			iii
参加者名簿			iv
<論文>			
七福神再考―(その一) 恵比寿考	・・・・・・・・・・	蓮沼 啓介	1
オンライン環境におけるデータ駆動型学習(DDL)3年間のふり り返り ―グループ活動を中心に―	・・・・・・・・・・	堀 恵子	5
「ソウダ」と「ッテ」「ンダッテ」	・・・・・・・・・・	蓮沼 昭子	16
―「伝聞」と「引用」の接点と分岐点―			
ロシア語学習者としてのゴンザと日本語教育者としての ゴンザ ―子音連続の学習と指導―	・・・・・・・・・・	いぬかい いて	31
日本語を母語とする児童生徒の作文調査 ―機能語的な副詞の使用に見られる話題の影響―	・・・・・・・・・・	砂川 有里子	37
夜間中学の今後	・・・・・・・・・・	土屋 千尋	46
地方自治体の広報誌で用いられるカタカナ語の使用実態 ―香川県広報誌「THE かがわ」を一例として―	・・・・・・・・・・	藤原 史織 山下 直子	56
ロシアと CIS 諸国の日本語教師が持つ音声指導への意識	・・・・・・・・・・	小熊 利江	66
中世から近代の辞書に見る字音の消長 ―「言」―	・・・・・・・・・・	黒沢 晶子	74
日本語格助詞データベースプロジェクト ―語義の立て方並びに例文作成についての考察―	・・・・・・・・	マダトナ・めぐみ 尾沼 玄也 砂川 有里子 関 かおる	90
教材分析から見える「受け身」教育の違い	・・・・・・・・	ヨフコバ 四位エオラ	96

—日本・チェコ・ロシア・モンゴル・マレーシアを事例に—	稲葉 和栄	
日本語を教えたい人向けのガイドブック作成	・・・・・・・・・・若井 誠二	111
—コースデザインに関するメモ—		
配慮表現としての「でしょうか」の使用状況	・・・・・・・・・・金庭 久美子	120
—8つのメールタスクによるメール文の分析—		
何が主体的な学びのナッジになり得るか？—難民へのライフ ストーリーインタビューを取り入れた多文化共生カリキュラ ムデザイン試行—	・・・・・・・・・・奥野 由紀子	130
学習者作文コーパスの教室活動における活用例	・・・・トリチコヴァ・ティウナ	142
	宮野谷 希	
クロアチア語の可能形式 <i>moći</i> の意味・用法と特徴	・・・・・・・・・・村田 恵美	150
—『見習い職人フラピッチの旅』の翻訳分析から—		
VT 法における「緊張」の概念	・・・・・・・・・・中野 二郎	160
—「運動を用いた音声指導」の根拠とその指導例—		
日本語アカデミックライティングにおける引用意識	・・・・・・・・・・坂口 昌子	168
—初年次学部留学生へのインタビューを通して—	胡 浩婧	
＜機関報告＞		
カーロリ・ガーシュパール・カルヴィン派大学人文社会学部	・・・・・・・・・・	179
東アジア研究センター 日本学科		
ヴィータウタス・マグヌス大学	・・・・・・・・・・	183